

「財源の確保をどうするか」

— 公共施設マネジメント事業 —

# 「朽ちるインフラ」 講演会報告書

「施設の多機能的な利用を  
考えるべきだと思う」

「まずは、全体像を」

平成26年3月 伊勢市

# はじめに

高度経済成長期から増えてきた日本の公共施設。今ある施設のすべてを修繕、更新していけば、莫大な投資が必要となってきます。

伊勢市においても、平成24年8月に発行した「公共施設マネジメント白書」によって、1000を越える施設のうち建設後30年を経過するものが4割以上を占めていることが分かってきました。今後、増大する公共施設の維持管理費の軽減を図っていく必要があります。

公共施設の再編によって、市民生活や地域にどういった影響があるのか。いかに活用していくことができるか、子ども達の負担になるものを少しでも減らしていくにはどうしたら良いのか、それらのことをどうやってプラスにもっていくのか。この大きな課題について考えるためには、まず、全体像をつかむことが不可欠です。

この講演会は、いわゆるインフラ、ハコモノの全体像について市民の皆さんに知っていただくため、この分野の第一人者である東洋大学経済学部の根本教授を講師にお迎えし開催しました。市内外から160人の方にご参加いただき、多くのご意見も頂戴しました。(アンケート結果参照)

本書は講演会にご参加いただけなかった方にも、公共施設老朽化問題の全体像をお知らせするため作成したものです。公共施設のあり方を考えるためにご活用いただければ幸いです。これからも、積極的に市民の皆さんと情報共有していきたいと考えています。

平成26年 3月 情報調査室

## CONTENTS

講演会の概要.....	1
講演会チラシ.....	2
レジュメ (朽ちるインフラ) 4	
聴講者アンケート集計.....	18
事項書.....	22
アンケート用紙.....	23

# 平成 25 年度 公共施設マネジメント講演会の概要

## 1 目 的

これまでに、当市は公共施設マネジメント白書の公表、広報誌への連載、議員・職員研修を行い、公共施設の現状と課題について周知を行ってきました。これから、課題解決に向けて、市民との意見交換会や方針策定を目指しているところです。

一方で、このほど行った市民アンケート結果から、この問題について知らないと回答した人が全体の 4 割に上り、若い年代に知らないと回答した人が多いことが分かってきました。

これから、施設老朽化への対応として、施設サービスの維持向上を図りながら、施設の複合化、統廃合を進めていくには、市民との問題認識の共有と総論部分の周知徹底は不可欠であることから、市民向け講演会を開催させていただくものです。

また、この分野の第一人者である根本祐二氏を講師に迎えることから、県内の行政関係者にも広く周知し実施することとしています。

- |          |   |
|----------|---|
| 2 演 題    | 「朽ちるインフラ」   |
| 3 講 師    | 東洋大学教授 根本祐二氏  |
| 4 日 時    | 平成 26 年 2 月 22 日(土)<br>午後 1 時 30 分～午後 3 時 開場は午後 1 時   |
| 5 実施場所   | 皇學館大学 6 号館 2 階 621 教室 (定員 200 人)<br>伊勢市神田久志本町 1704 番地   |
| 6 内容(案)  | 1、インフラ・ハコモノの現状<br>2、なぜ、公共施設マネジメントが必要なのか<br>3、施設老朽化問題への対策<br>①3 層構造の対策、②箱とサービスの分離、③施設の複合化など                              |
| 7 参加費    | 無料  |
| 8 申込み方法  | 事前の申込みは必要ありません。直接会場におこしください。  |
| 9 主 催    | 伊勢市   |
| 10 後 援   | 三重県、皇學館大学   |
| 11 問い合わせ | 伊勢市役所情報戦略局情報調査室 鎌田・山本<br>伊勢市岩渕 1 丁目 7 番 29 号<br>電話:0596-21-5548 ファックス:0596-21-5522<br>電子メール:joho-cyousa@city.ise.mie.jp |

## 伊勢市公共施設マネジメント講演会

# 朽<sup>く</sup>ちるインフラ

今、高度経済成長期に建てられた多くの施設が老朽化しています。近い将来、これらの施設の建替え時期が集中し、その対応に莫大な費用が必要になることが全国的な問題にもなっています。市民生活にも影響を及ぼすこの問題にどう対応していくのか、この分野の第一人者である根本祐二氏を講師に迎え講演会を開催します。

講

師

東洋大学経済学部教授 **根本祐二氏**

### 講師プロフィール

昭和 53 年 東京大学経済学部卒業  
昭和 53 年 日本政策投資銀行入行  
平成 18 年 東洋大学経済学部教授（現職）  
内閣府 PFI 推進委員会委員など  
専門は公民連携、地域再生

—著書—

「朽ちるインフラ」（日本経済新聞出版社）

「地域再生に金融を動かす」（学芸出版社）

次世代に  
ツケを残すな!!

聴講無料

日時

平成 **26** 年 **2** 月 **22** 日（土）  
13 時 30 分～15 時

会場

皇學館大学 6 号館 2 階 621 教室

定員

**200** 人（先着順）※駐車場 100 台分

【主催】伊勢市 【後援】三重県、皇學館大学  
※まなびのパスポート対象事業

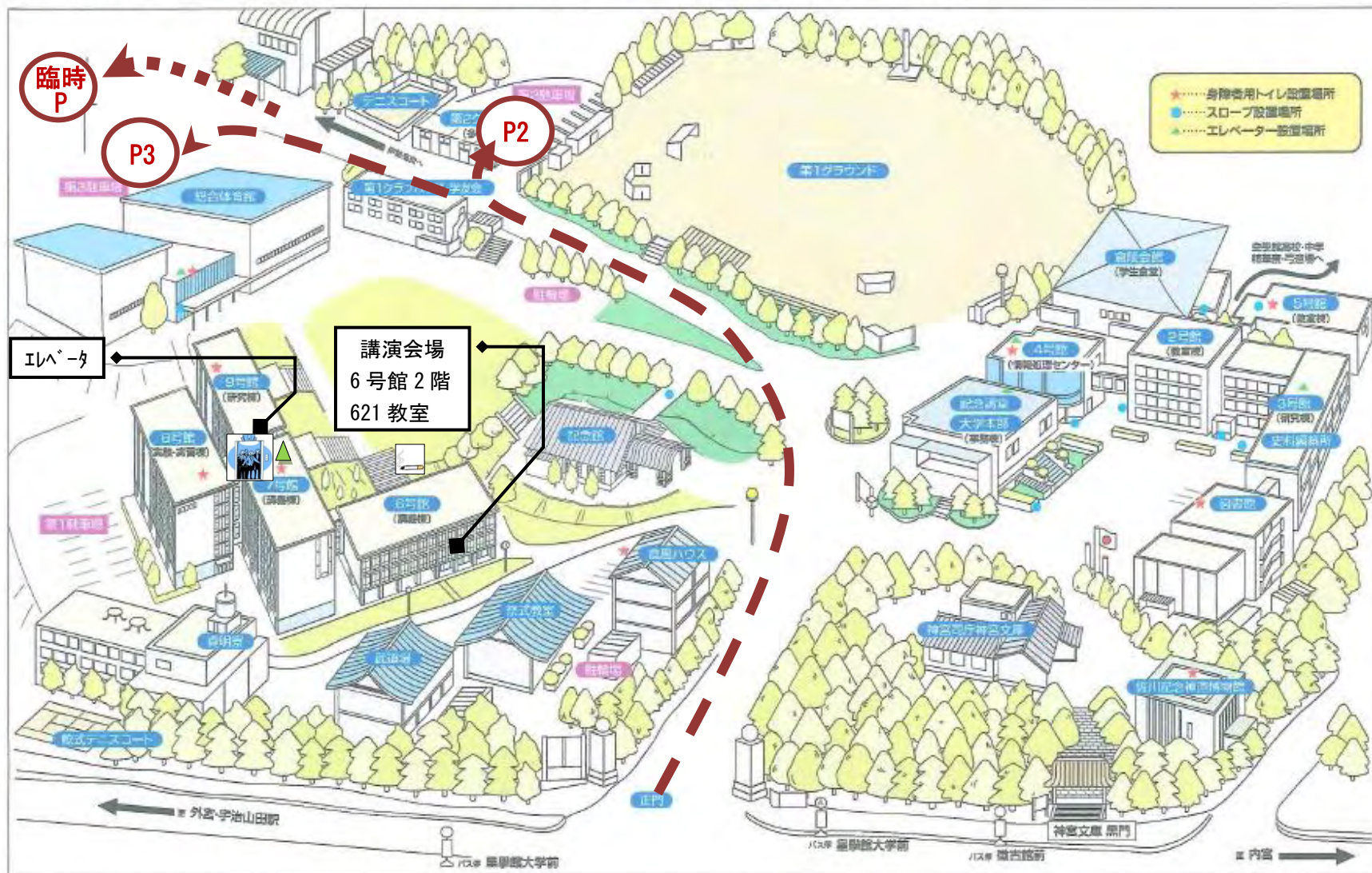


問合せ先：伊勢市役所情報戦略局情報調査室

伊勢市岩渕1丁目7番29号 電話：0596-21-5548

# 公共施設マネジメント講演会駐車場案内図

この地図は平成 26 年 2 月 22 日に伊勢市が開催する、公共施設マネジメント講演会のために皇學館大学キャンパス地図を加工して作成しています。



# 伊勢市公共施設マネジメント講演会 レジュメ

## 朽ちるインフラ

2014. 2. 22

根本祐二

東洋大学経済学部教授

<http://www.pppschoool.jp>

[nemoto@toyo.jp](mailto:nemoto@toyo.jp)



## 自己紹介

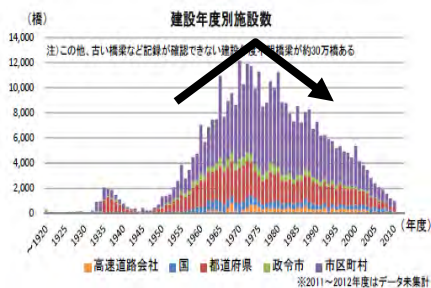
根本祐二 鹿児島市出身。58才。東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。同行地域企画部長を経て、2006年、東洋大学総長塩川正十郎が、同大学に日本初の公民連携(PPP)専門大学院を立ち上げる際に、同大学教授として転籍。現在、大学院経済学研究科公民連携専攻長、PPP研究センター長を兼務。

東洋大学は、2011年、国連より世界初のPPP教育研究機関として認定を受けた。

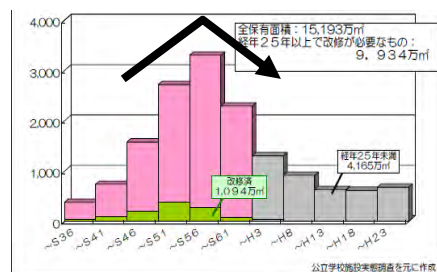
主著:「朽ちるインフラ」、「豊かな地域はどこが違うのか」、「公民連携白書」(共著)

## 公共施設・インフラ老朽化の実態

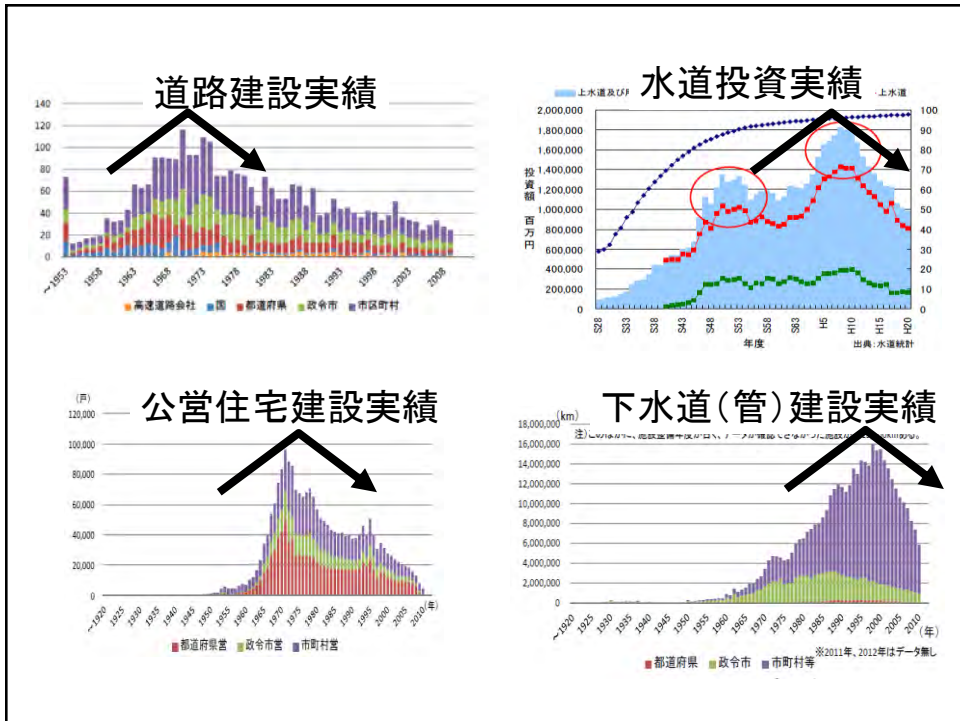
### 橋の建設実績



### 学校施設の建設実績



日本のインフラは1970年代前後に集中して建設され、老朽化が進んでいる。いずれは建て替え(更新)が必要でそのピークは2020年代以降。



**いずれは崩壊して生命の危険が生じます**

2011.3.11  
東京九段  
会館 天  
井崩落



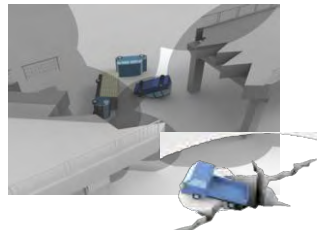
2012.12.2  
中央自動  
車道管子ト  
ンネル天  
井板崩落



2013.2.10  
浜松市の  
第一弁天  
橋ワイヤ  
一破断事  
故発生



2013.8.8 東京都北区の  
区道陥没



2013.10.15  
東京都港区の  
区道崩落

講演会報告書用に写真をイラストへ変更しています。

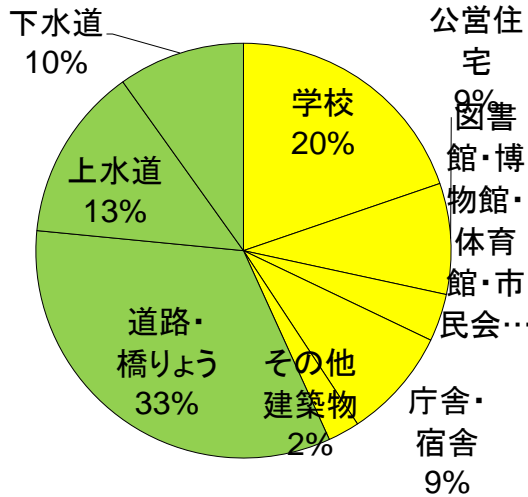


## 建て替えるには膨大な予算が必要です

将来更新投資金額(2011/4内閣府PFI推進委員会にて筆者試算)

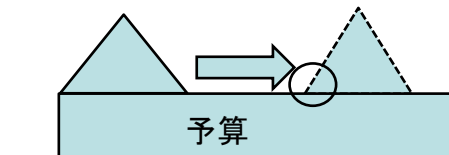
現在あるインフラを維持するだけでも **毎年8.1兆円 × 50年必要**。

数年はできても長期的には持続困難。



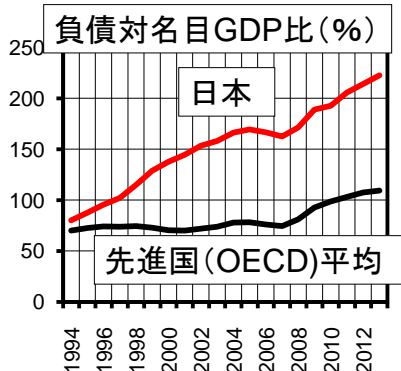
## 社会保障を削りますか、無理に借金しますか

過去の公共投資      今後の更新投資



公共投資予算は大幅に減ってきました。主な理由は、少子高齢化などによる社会保障費の増加です。

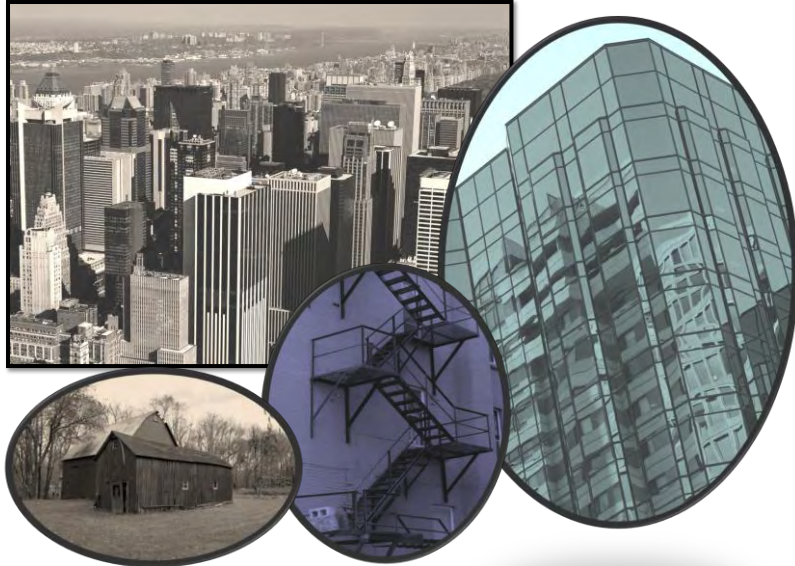
今後も、今ある公共施設・インフラをすべて維持する予算はありません。



借金(国債など)に頼るのも限界があります。日本の負債依存度は、先進国の中でずば抜けて高い水準です。

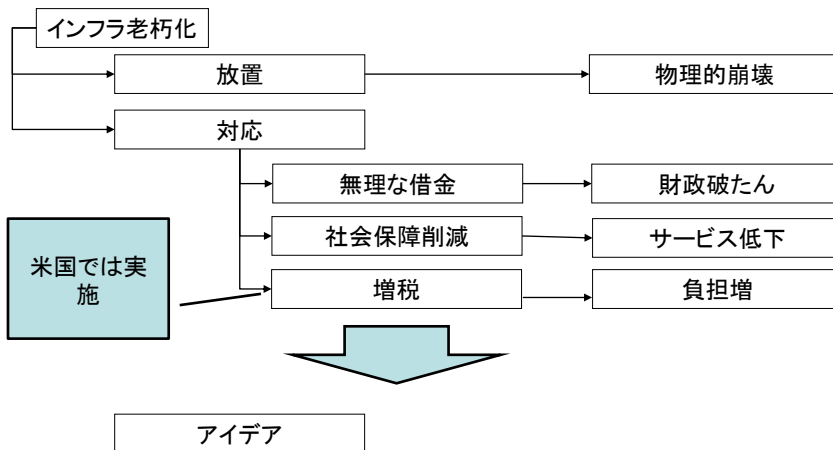
出典: OECD Economic Outlook

## 休止していくと悲しい末路 米国デトロイト市



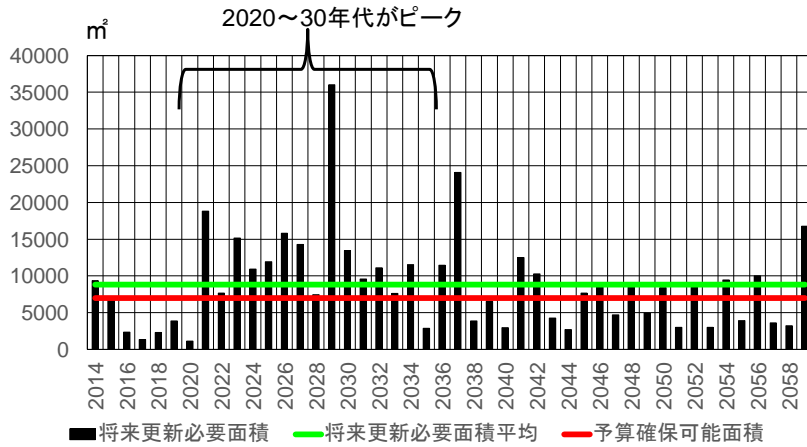
講演会報告書用に写真をイラストへ変更しています。

## オプション



統廃合・多機能化、公民連携、長寿命化、広域化、ソフト化(民間施設利用補助)、地域移管、利用料引上げ、公的不動産活用

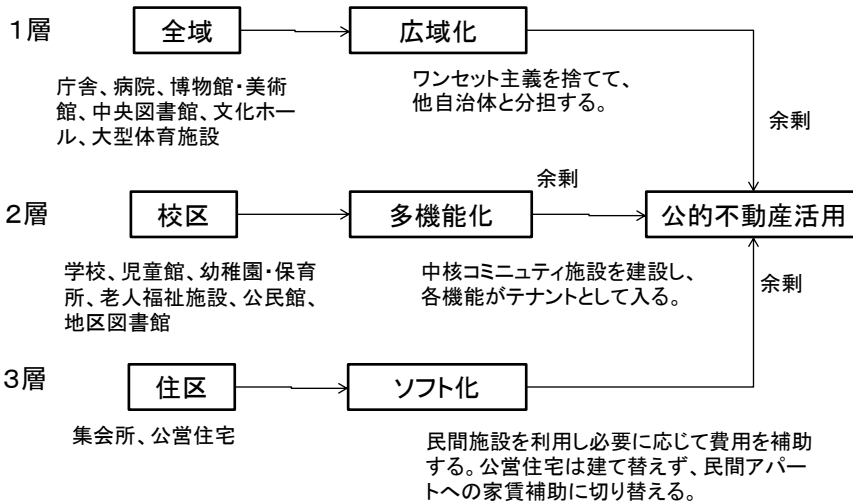
## 実態の把握(東洋大学PPP研究センターソフト)



現在ある公共施設を耐用年数到来時点で同規模更新すると仮定。予算確保可能面積は最近10年間の実績とする。将来更新必要面積平均と予算確保可能面積の差が予算確保可能率となる。この例では79%。⇒10のうち2は廃止！

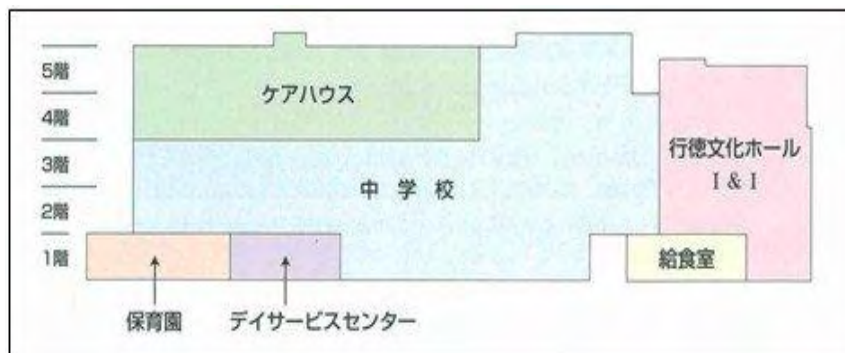
## 公共施設:3階層マネジメント

公共施設の利用者の範囲によって3階層に分けて、それぞれごとに別々の処方箋を提示する。⇒機能を維持しつつ負担は3割減



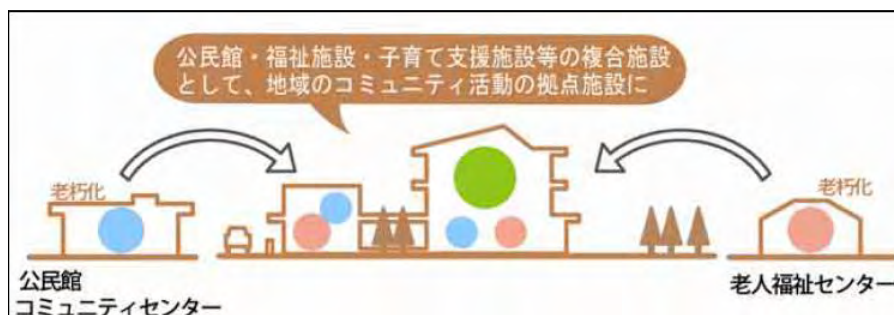
## 公共施設の複合化・多機能化事例 (市川市立第7中学校:PFI)

老朽化した中学校校舎と給食室の建て替えに際して、公会堂、保育園を併設した複合施設を整備。別のPFI事業としてケアハウス、デイサービスセンターも整備。



## (参考)文部科学省学校施設老朽化ビジョン

自治体の公共施設の半分は学校施設。老朽化更新の際に、**将来用途転換が容易にできるよう多機能化**して周辺施設の機能を移転する。



コミュニティの大人の目で児童生徒を見守るという発想へ転換する必要がある。

## 民間資産の利用(リース方式)

公共サービスが提供するのに公共インフラは不可欠ではない。民間資産のリース方式ならニーズの減少に応じて費用を削減できる。資産を持てば費用が固定化する。  
公営住宅は民間住宅への家賃補助に変えることで、民間、自治体ともに改善するはず。国の補助制度の見直しは不可欠。

千葉県習志野市役所仮庁舎



老朽化庁舎の建て替えの間、駅前の休業ホテルを借り上げている。

講演会報告書用に写真をイラストへ変更しています。

## 民間活用の事例

図書館都市(恵庭)

公立図書館(24時間営業の日)

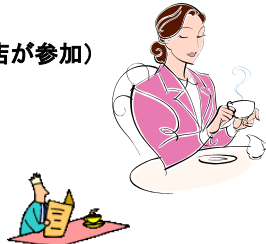


蔦谷書店函館店

年中無休、25時まで営業



まちじゅう図書館(28店が参加)



講演会報告書用に写真をイラストへ変更しています。

## 公的不動産の活用事例 奈良県養徳学舎建替PPP

東京都内の県民子弟寮が老朽化。使っていない公有地を、民間デベロッパーに貸し出し、その収入で、公共施設を無償で建て替えた。

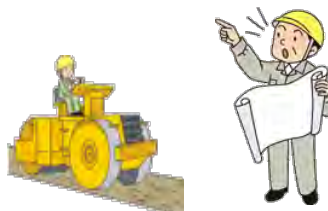
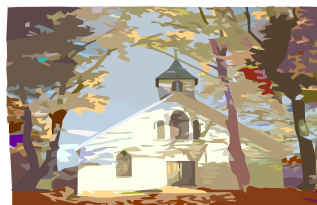
国、自治体問わず低未利用の公的不動産は非常に多い。**不動産価値がゼロでない限り全国どこでも可能。**



講演会報告書用に写真をイラストへ変更しています。

## 土木インフラの予防保全の事例 北海道清里町・大空町インフラ保全包括委託

予防保全で**事故を未然に防ぎ寿命を延ばす**。  
町内の全道路・橋りょう・河川を公の施設として条例で指定。草刈り、路面清掃、舗装・法面補修、除雪、河川のモニタリングなど。指定管理者制度を活用。地元企業のJVが指定されている。  
東京都府中市でモデル事業実施中。



講演会報告書用に写真をイラストへ変更しています。

## 公共施設の包括予防保全の事例 千葉県我孫子市公共建築物包括保全委託

提案型公共サービス民営化制度での民間提案。市内の公共施設のうち、3分の1程度の施設点検・保全が対象。業務委託。



建築物の保全では、香川県まんのう町PFI事業が先行事例。2013年度より流山市でも開始。



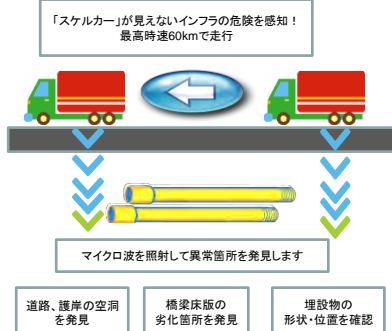
講演会報告書用に写真をイラストへ変更しています。

## 予防保全技術の例 ジオサーチ社スケルカー

**水道管、下水道管破損等で生じた地中の空洞は道路陥没を引き起こす。縦割りでは把握できない。**

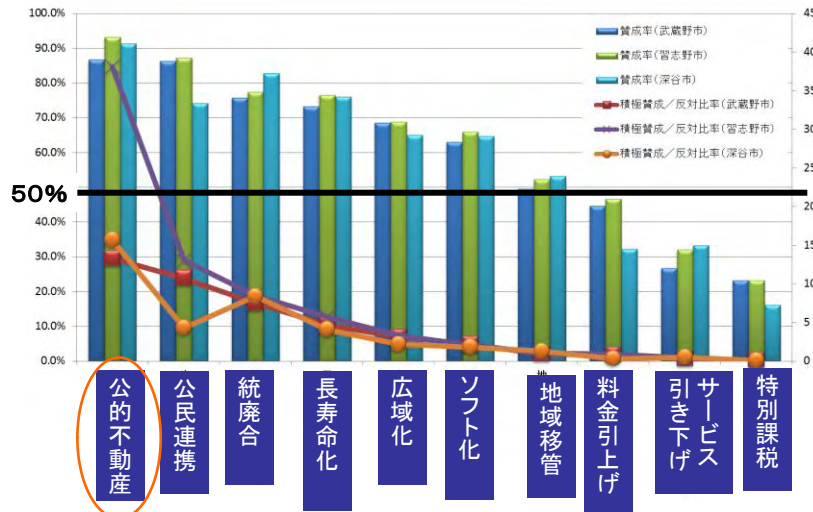
これを、トラックに搭載したマイクロ波で事前に検知することで予防保全する技術。地雷探査技術を応用。

時速60kmでも使用可能で、スピーディな検査が可能。



講演会報告書用に写真をイラストへ変更しています。

## 市民アンケート結果(武蔵野・習志野・深谷)



[4. 積極的に実施すべき 3. どちらかといえば実施すべき 2. どちらかといえば実施すべきでない 1. 実施すべきでない] 賛成率: 1~4合計に占める3, 4の合計の割合  
積極的賛成・反対比率: 4の回答÷1の回答

## 公共施設等総合管理計画

インフラ長寿命化基本計画  
(基本計画)【国】 H25.11策定

(行動計画) 【国】

各省庁が策定

2014年度以降策定が求められる。公共施設マネジメント白書の延長線上で策定すれば良いが、以下を高める必要あり。

特徴

- (1) 背景の明確性
- (2) 対象の網羅性
- (3) 計画の長期性
- (4) 分析の客観性
- (5) 手段の総合性

(行動計画) 【地方】

公共施設等総合管理計画(H26年度~)

- ・公共施設等の現況及び将来の見通し  
(例) 公共施設等の状況(数、延べ床面積等)、財政状況、人口動態 など
- ・公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針  
(例) 統合・更新・長寿命化等に関する基本的な考え方、総量等に関する数値目標 など
- 自治体が所有する全公共施設・インフラが対象
- 計画策定に交付税措置(50%の経費補助)
- 計画に基づく公共施設の除却に75%の財政措置  
⇨計画なしでは老朽化公共施設の解体がしづらくなる。



## (1)背景の明確性

第一 以下の項目などについて、公共施設等及び当該団体を取り巻く現状や課題を客観的に把握・分析。

- (1) 老朽化の状況や利用状況をはじめとした公共施設等の状況
- (2) 総人口や年代別人口についての今後の見通し
- (3) 財政収支の見込み(中長期的な維持管理・更新等の費用の見込みを含む)

第二 四 当該公共施設等において現在提供しているサービスそのものの必要性の検討

公共施設等において提供しているサービスの必要性について再検討することは勿論、当該サービスが公共施設等を維持しなければ提供不可能なものであるか(民間代替可能性)など、施設等とサービスの関係について十分に留意することが必要。

根本コメント

- 歴史、人口、経済等の背景や見通しを分析すること。
- 公共施設の目的を再確認すること。「存在していること」は「今後も存続させる」理由にはならない。そもそも何のために作ったのか理解できない施設が非常に多い。

## (2)対象の網羅性

第一

一 全ての公共施設等を対象

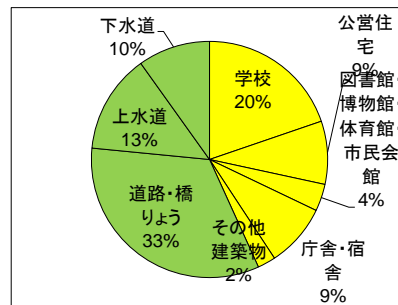
第三

- 一 計画策定にあたり、「インフラ長寿命化基本計画」を参考にしつつ、整合性を図りながら策定することにより、一つの計画を策定することで足りるものであること。
- 二 公営企業に係る施設も、計画の対象となること。

根本コメント

- インフラ(道路、橋りょう、公園、河川施設、水道、下水道)は必ず含む。公営企業も含む。
- 学校、公営住宅、橋、上下水道などを対象外にするという圧力があっても「聖域」をなくすことが重要。
- 以下も含めるのが良い。
  - ・プラント(廃棄物処理、斎場、浄水場、汚水処理場、医療機器など)
  - ・一部事務組合、広域連合の保有する資産(分担率を考慮)。

更新投資のウェイト



### (3)計画の長期性

#### 第一

##### 二 (1)計画期間

計画期間について記載。長期(10年以上)のものとすることが望ましい。

#### 根本コメント

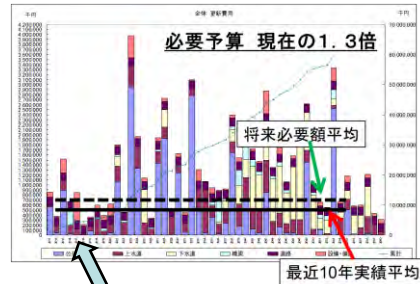
●自治体の計画類の中では最も長い。資産を新增設、更新するということは維持管理運営費負担を継続するという。単年度や数年度ではなく長期的に考えるのは当然。

●老朽化が進んでいない自治体では10年未満では問題を把握できず、従来通りの方針で施設を維持して、10年後に悲惨な状態になる。

●長寿命化のわな。

・現在の技術では、長寿命化するには追加的な改修費用をプラス50~60%して長寿命化効果が20~50%となり、ライフサイクルコストは割高となる。⇒40~50年の計画が必要。

宮代町の分析結果



最初の10年は足りている

### (4)分析の客観性

第一 二(3)現状や課題に関する基本認識 現状や課題に対する認識を記載。  
(例)

・今後の財政収支の見通しを踏まえ、施設等の新設・更新や維持管理等が可能な状況にあるか

・人口の見通しを踏まえた利用需要を考えた場合、施設数等が適正規模にあるのかなど

#### 第二 三 数値目標の設定

計画の策定にあたっては、財政負担の軽減・平準化に向けてできる限り数値目標を設定するなどに努める。

#### 根本コメント

●計画の重要な目的が「今後の財政収支の見通しを踏まえ、施設等の新設・更新や維持管理等が可能な状況にあるか」の検証(ア)。

●さらに、不足がある場合は、どのように解消するのか(イ)。これらは、客観的な分析がなければ評価できない。

●地域総合整備財団ソフトでは(ア)は可能だが、(イ)はできないので、自分で考える必要がある。東洋大学PPP研究センターでは、自治体ごとに計算できるようにカスタマイズしたソフトを制作している。

## (5)手段の総合性

### 第一 二 (4)適正管理に関する考え方

今後、統廃合や長寿命化、安全性の確保など、どのように所有する公共施設等を管理していくかについて、基本的な考え方(現状(財政収支や人口の見込み等)を踏まえた適正管理に関する基本方針)を記載。

その際、以下の事項にも触れる。

①点検・診断等の実施方針、②維持管理・補修・大規模改修・更新等の方針、⑤統廃合等の推進方針

第二 五 PPP/PFI の活用 六 市区町村域を超えた広域的な検討

### 根本コメント

- 何かの手段を禁止すると他の手段だけでは解決がつかなくなる。特に統廃合。
- 統廃合・多機能化、公民連携、長寿命化、広域化、ソフト化(民間施設利用補助)、地域移管、利用料引上げ、サービス水準の引き下げ、特別増税、土地活用など。
- すべてに利用者の反対はあるが、反対を恐れては解決しない。納税者の意見を聞くこと(後添市民アンケート)。

## 最後のメッセージ

高度成長期の私たちの先輩は、私たちに、「健全な財政と豊かなインフラ」を残してくれました。

しかし、1990年代以降の私たちは、未来の子どもたちに、「不健全な財政と朽ちゆくインフラ」を残そうとしています。

賢く再編して、胸を張れる地域を残してあげましょう

。

伊勢市公共施設マネジメント講演会

# 「朽ちるインフラ」 聴講者アンケート結果集計

講演会名 伊勢市公共施設マネジメント講演会  
「朽ちるインフラ」  
日 時 平成26年2月22日(土曜)  
午後1時30分～午後3時  
会 場 皇學館大学6号館621教室  
講 師 東洋大学経済学部教授 根本祐二氏  
参加者数 160人(アンケート回収133人)  
タイムスケジュール 講演 13:30～14:40  
質疑応答 14:40～15:00

参加者から寄せられたご意見を抜粋しました。

## 市民と行政が 一緒にやらなければ ならないと 強く感じた

市民を巻き込んだこのような機会を増やすべきだと思います。市民の気運が大事だと思います。

廃止した施設は撤去すべきか。  
撤去するにしても費用負担は大きい。

現実廃止となると難しい部分もたくさんある。市役所内でも横断的な検討も必要である。講演にあった包括予防保全の取組み事例が参考になる。

学校の多機能的な利用を考えるべきだと思う。

全国的にこの問題が深刻になっていることがよく分かった。市民にどの程度まで説明し、行政側がどの程度まで踏み込んでいくべきかそのような議論をぜひ聞かせてほしい。

## 危機感は 伝わったが、 財源の確保を どうするのか。

公共施設の統廃合についての必要性がよく理解できた。しかし、先生が例に出された他市町村と伊勢市とは状況が違うであろうし、統廃後のケアについても深い議論が必要だと感じた。

## 市民で議論する場を!

講師の方の話がたいへん分かりやすく参考になった。(同様のご意見が他6件)

PFI、PPPとかの用語をもう少し説明してほしい。それがどのような手法かが理解できぬまま講演が進んだ。

## 本格的に やっていくことになると 大変な事業に なると思います。 頑張ってください。

子どもや孫の代まで引き伸ばしはできないことは理解できる。新設ばかりでなく統廃合も重要なことも理解した。複合施設化を進めることは賛成ですが一ヶ所にかたよらない方法を。

貴重なお話を聞くことができよかったですと思います。根本先生の著書も読みたいと思います。

伊勢市の具体的な施設をもつて議論していただきたい。

## お金がかからない 公共サービスへの 転換が必要である。

市民の意見を十分聞き、効率的な施設の整備が必要。伊勢市としての方法が最も効率的かどうかの判断が必要。

行政のトップがしっかり  
対応すべきである。

長期の取組みと  
なるため  
担う人の  
育成も必要。

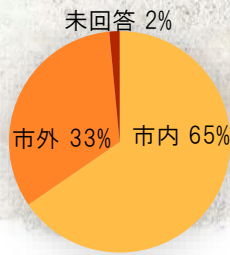
施設を多種多様な活用ができるようにするには発想の転換が必要である。

公共施設、インフラにしのびよる危険について、第一人者からの講演を聞く機会をいただき、感謝しています。どうもありがとうございました。

市民の理解が重要である。総論賛成各論反対にどう対応していくのでしょうか。今日の講演の内容を来てない人も分かるようにホームページや広報にのせてほしい。

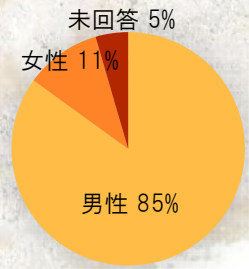
### 【お住まい】

項目	回答数	割合
市内	87	65%
市外	44	33%
未回答	2	2%
合計	133	100%



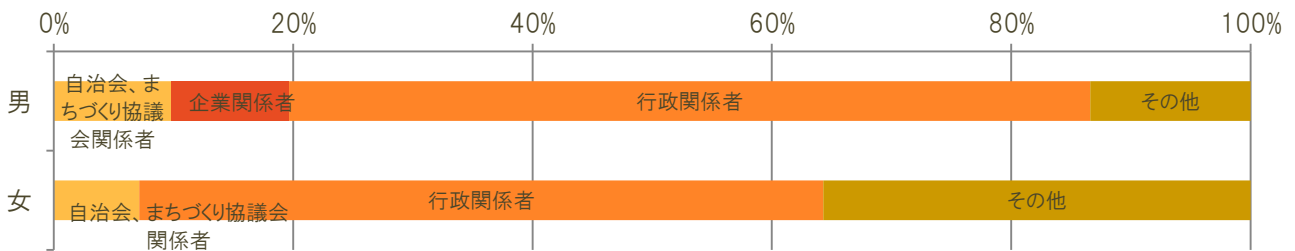
### 【性別】

項目	回答数	割合
男性	113	85%
女性	14	11%
未回答	6	5%
合計	133	100%



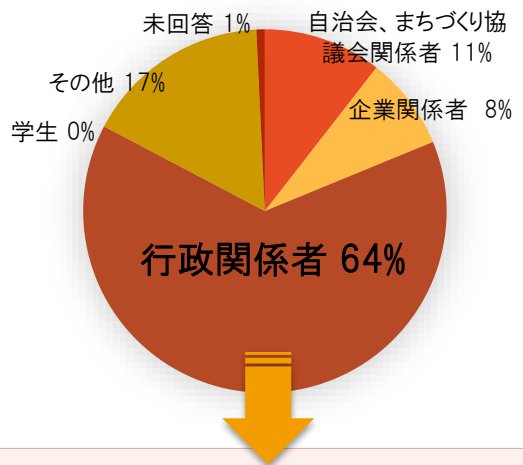
### 【クロス集計（性別、所属）】

	自治会、まちづくり協議会関係者	企業関係者	行政関係者	学生	その他	未回答	合計
男	11	11	75	0	15	1	113
女	1	0	8	0	5	0	14
未回答	2	0	2	0	2	0	6
合計	14	11	85	0	22	1	133

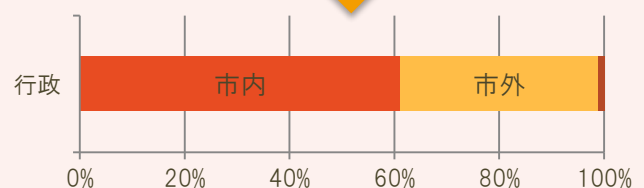


### 【所属】

項目	回答数	割合
自治会、まちづくり協議会関係者	14	11%
企業関係者	11	8%
行政関係者	85	64%
学生	0	0%
その他	22	17%
未回答	1	1%
合計	133	100%

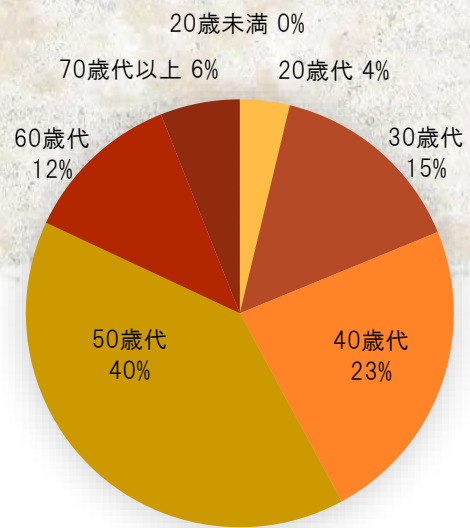


	市内	市外	未回答	合計
行政	52	32	1	85
合計	52	32	1	85



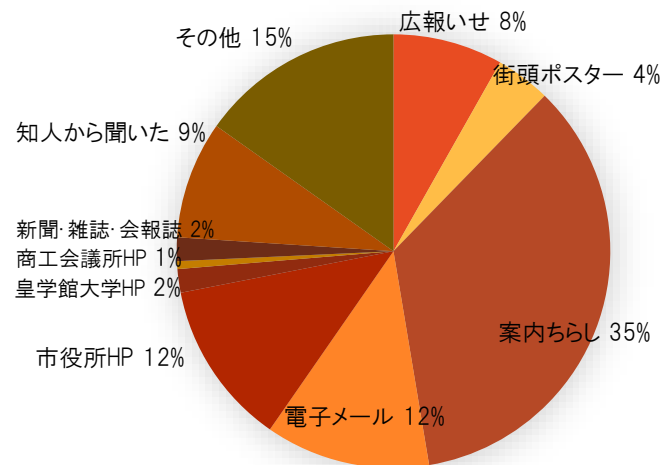
### 【年齢】

項目	回答数	割合
20歳未満	0	0%
20歳代	5	4%
30歳代	20	15%
40歳代	31	23%
50歳代	53	40%
60歳代	16	12%
70歳代以上	8	6%
合計	133	100%



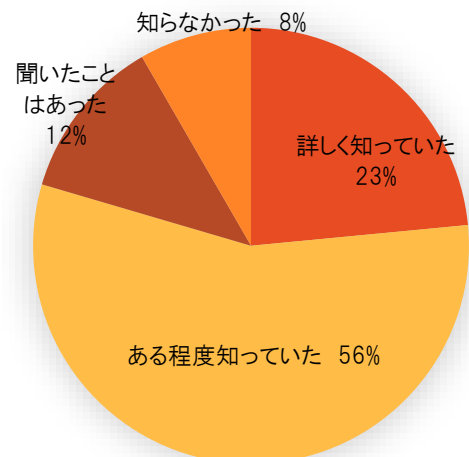
### 1. この講演会を何でお知りになりましたか？（複数回答）

項目	回答数	割合
広報いせ	14	8%
街頭ポスター	7	4%
案内チラシ	60	35%
電子メール	21	12%
ケーブルテレビ	0	0%
市役所 HP	21	12%
皇学館大学 HP	3	2%
商工会議所 HP	1	1%
新聞・雑誌・会報誌	3	2%
知人から聞いた	15	9%
その他	26	15%
合計	171	100%



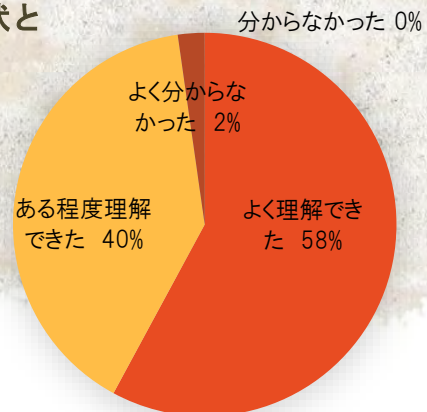
### 2. 公共施設やインフラの維持更新に関して、今回提起したような問題があることをご存知でしたか？

項目	回答数	割合
詳しく知っていた	31	23%
ある程度知っていた	74	56%
聞いたことはあった	16	12%
知らなかった	11	8%
合計	132	100%



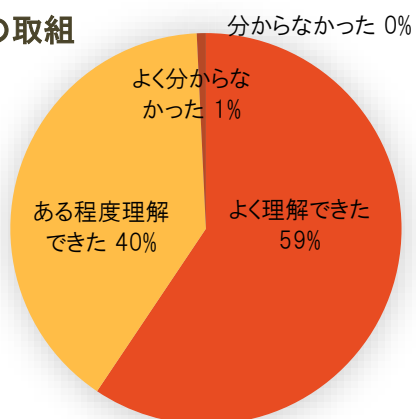
### 3. 今日の講演会によって、インフラを取り巻く現状と課題について理解は深まりましたか？

項目	回答数	割合
よく理解できた	77	58%
ある程度理解できた	53	40%
よく分からなかった	3	2%
分からなかった	0	0%
合計	133	100%



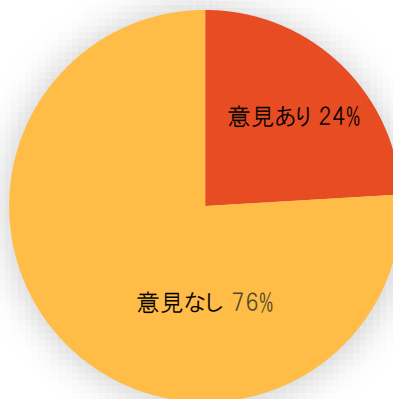
### 4. 今日の講演会によって、公共施設マネジメントの取組みの必要性について理解は深まりましたか？

項目	回答数	割合
よく理解できた	79	59%
ある程度理解できた	53	40%
よく分からなかった	1	1%
分からなかった	0	0%
合計	133	100%



### ご意見

項目	回答数	割合
意見あり	32	24%
意見なし	101	76%
合計	133	100%



### 講演後の質疑応答

- Q. 施設の統廃合は何から始めればよいか。  
A. 例外はない。施設を広域、地域など機能別に分けて在り方を検討する必要がある。
- Q. レジュメの中のインフラ資産には堤防は含まれているのか  
A. 含まれていない。地域によって大きく異なる要因となる施設は含めていない。
- Q. 公共施設マネジメントにおいて PFI、PPP の先進事例を教えてください。  
A. PFI など手法にこだわる必要はない。府中市などは道路維持を包括委託するなど、いくつかの先進事例がある。
- Q. 施設の統廃合で施設まで通うのが不便になるがどうすれば良いのか。  
A. 学校でいえばスクールバスで対応するなど対応策はあると思われる。

伊勢市公共施設マネジメント講演会  
「朽ちるインフラ」事項書

日時 2月22日(土)午後1時30分～  
場所 皇學館大学6号館621教室

1, 主催者あいさつ

2, 講演

3, 質疑応答



## 「公共施設マネジメント講演会」アンケート

今後の事業推進の参考にするため、下記質問の該当項目に○印をご記入下さい。

【お住まい】 ①市内 ②市外 【性別】 ①男性 ②女性

【所属】 ①自治会、まちづくり協議会関係者 ②企業関係者 ③行政関係者  
④学生 ⑤その他

【年齢】 ①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代  
⑥60歳代 ⑦70歳代以上

### 1. この講演会を何でお知りになりましたか？（該当するものすべてに○）

- ①広報いせ ②街頭ポスター ③案内ちらし ④電子メール  
⑤ケーブルテレビ ⑥市役所 HP ⑦皇學館大学 HP ⑧商工会議所 HP  
⑨新聞・雑誌・会報誌 ⑩知人からきいた ⑪その他

### 2. 公共施設やインフラの維持更新に関して、今回提起したような問題があることをご存知でしたか？

- ①詳しく知っていた ②ある程度知っていた ③聞いたことはあった ④知らなかった

### 3. 今日の講演会によって、インフラを取り巻く現状と課題について理解は深まりましたか？

- ①よく理解できた ②ある程度は理解できた ③よく分からなかった ④分からなかった

### 4. 今日の講演会によって、公共施設マネジメントの取組みの必要性について理解は深まりましたか？

- ①よく理解できた ②ある程度は理解できた ③よく分からなかった ④分からなかった

### 5. ご意見・ご感想などお書き下さい。 【記入例：もっと積極的に議論すべきである など】

[ ]

ご協力ありがとうございました。



発行 伊勢市 情報戦略局情報調査室

伊勢市岩渕1丁目7-29

TEL 0596-21-5548 ・ FAX 0596-21-5522

E-mail [joho-cyousa@city.ise.mie.jp](mailto:joho-cyousa@city.ise.mie.jp)

HP <http://www.city.ise.mie.jp/>